令和７年度屋外広告士試験

問　題　Ｂ

広告デザイン

試験時間：13:00～14:20（退出可能時間：13:50～14:10）

次の注意をよく読んでから始めてください。

１．これは問題Ｂです。表紙を除き12ページ20問あります。

２．問題はすべて必須問題です。

３．氏名・受験地はマークシート解答用紙に記入してください。

４．受験番号はマークシート解答用紙に記入し、該当する番号欄を鉛筆で塗りつぶしてください。

５．解答はマークシート解答用紙の番号欄を鉛筆で塗りつぶしてください。

６．１問に２つ以上解答した場合は正解としません。

７．解答を訂正する場合は、消しゴムでていねいに消して訂正してください。

８．マークシート解答用紙は退席の際に回収します。

９．この問題冊子は持ち帰っても構いません。

【問１】日本の歴史的な屋外広告に関する記述として、**適切でないもの**はどれか。

１．大規模で派手な屋外看板が出現するのは、明治時代になってからである。

２．都市における商業の顕著な発達がみられた室町時代には、すでに商家の屋号などを記した暖簾などが屋外広告物の役割をはたしていた。

３．我が国の歴史的な文献において、今日的な意味における屋外広告物に関する記述があらわれたとされるのは平城京の時代であった。

４．江戸時代の中期になると、技巧を凝らした屋外広告物がつくられるようになり、再三にわたって幕府がそれらを取り締まるようになった。

【問２】日本の屋外広告物の歴史に関する記述の空欄に入る語の組合わせとして、**正しいもの**はどれか。

1903年に大阪で第５回内国勧業博覧会が開催され、（　　a　　）が評判となった。大正期になり、1913年に中山太陽堂が東京で初めて（　　b　　）を設置した。1920年にライオン歯磨が大阪の（　　c　　）にネオン広告塔を建てた。

	（a）	（b）	（c）
1.	大型広告塔	ネオンサイン	通天閣
2.	イルミネーション	ネオンサイン	道頓堀
3.	大型広告塔	アドバルーン	道頓堀
4.	イルミネーション	アドバルーン	通天閣

【問３】歴史的まち並みを構成する要素のひとつでもある写真の自動販売機について、色彩やデザイン、設置位置と景観に関する次の記述のうち、**適切でないもの**はどれか。

（写真１：通り景観方向の写真）

（写真２：設置位置正面の写真）

１．商標・ロゴマーク等は、購入する人が分かり易く識別できる必要最小限の表示を心がけたものとなっている。

２．ポスターや商品ステッカーなどの表示は、必要最小限の添付として周辺景観との調和が図られている

３．自動販売機は、空きスペースの問題もあり金属調の建物を背景に設置されていて、不調和感は拭えず、隣接の歴史的な建物の前面への設置が望ましい。

４．視認性が求められる自動販売機ではあるが、焼き杉木目調の茶色で目立たなくしており、まち並み景観の基調色と一体感が図られている。

【問４】色料の３原色についての記述として、**適切なもの**はどれか。

１．赤（R＝RED）、緑（G=GREEN）、青（B=BLUE）のことを指す。

２．イエロー（Y=YELLOW）、シアン（C=CYAN）、マゼンタ（M=MAGENTA）のことを指す。

３．色相、明度、彩度のことを指す。

４．色の心理的効果の現れは色料の３原色に大きく依存している。

【問５】人の視知覚に関する記述として、**適切でないもの**はどれか。

１．動いている物を目で追う場合、眼球が動いている対象物以外の静止したすべての視野の網膜像も一斉に動くはずなのに、なにも動いているとは感じず視野は安定して見えている。このような知覚の現象を「位置の恒常性」という。

２．「恒常性」とは、網膜に入ってくる光の像の大きさや形、明るさや色の変化、対象物の運動にもかかわらず、その対象物の見え方に網膜上の変化が影響せず同じように安定して知覚される現象をいう。

３．視対象の形が視野に対して傾くと、網膜像の形は変化するが、知覚される形は変わらず一定に保たれる現象を「形の恒常性」という。

４．自分から遠ざかっていく人を眺めている時、網膜像の大きさは小さくなっていくが、視知覚としてはその人がみるみる小さくなっていくということはなく、同じような身長の人が自分から遠ざかっていくと知覚される。このような知覚の現象を「運動の恒常性」という。

【問６】色彩の透明視に関する記述として、**適切でないもの**はどれか。

１．透明視は手前の透明に見える物体よりも、その向こう側がよく見える効果である。

２．透明視は一次色（A色、B色）と二次色（混色）の配色効果によるものである。

３．混色部の色は、２つの一次色のうちの近い色の方に距離が近いと感じる。

４．図のような色彩による透明視は錯視の一種である。

【問７】写真は、今年の春に撮影したヤマブキ（山吹、学名：Kerria japonica）である。写真に見るようなヤマブキの花の色に関する次の記述のうち、**適切でないもの**はどれか。

１．美しいヤマブキの花は、『万葉集』にも詠まれるなど古くから観賞され、山吹色は、日本の伝統色名の一つにあげられている。

２．ヤマブキの花の色の黄色は、抽象的連想の希望・明朗な印象を持っている。

３．ヤマブキの花と新緑の葉の色は、明度と彩度が近く類似の関係にある。

４．JIS「物体色の色名」のマンセル表示で山吹色は、10YR7.5/13と表示され、系統色名は「鮮やかな赤みの黄」である。

【問８】照明光源の種類と特性及び広告物での利用についての組合わせとして、**正しいもの**はどれか。

	特　　性	広告物での利用
１．ネオン管	文字や図形に沿わせた線光源	点滅式広告塔、アート作品
２．ＬＥＤ	線光源、紫色系の発色が良くない	投光光源・道路照明光源
３．蛍光灯	点光源、赤・橙色が強調される	投光光源・電飾用
４．白熱ランプ	面光源、青色分布域を多く含む	内照式サインの光源

【問９】サインとしての光に関する記述として、**適切でないもの**はどれか。

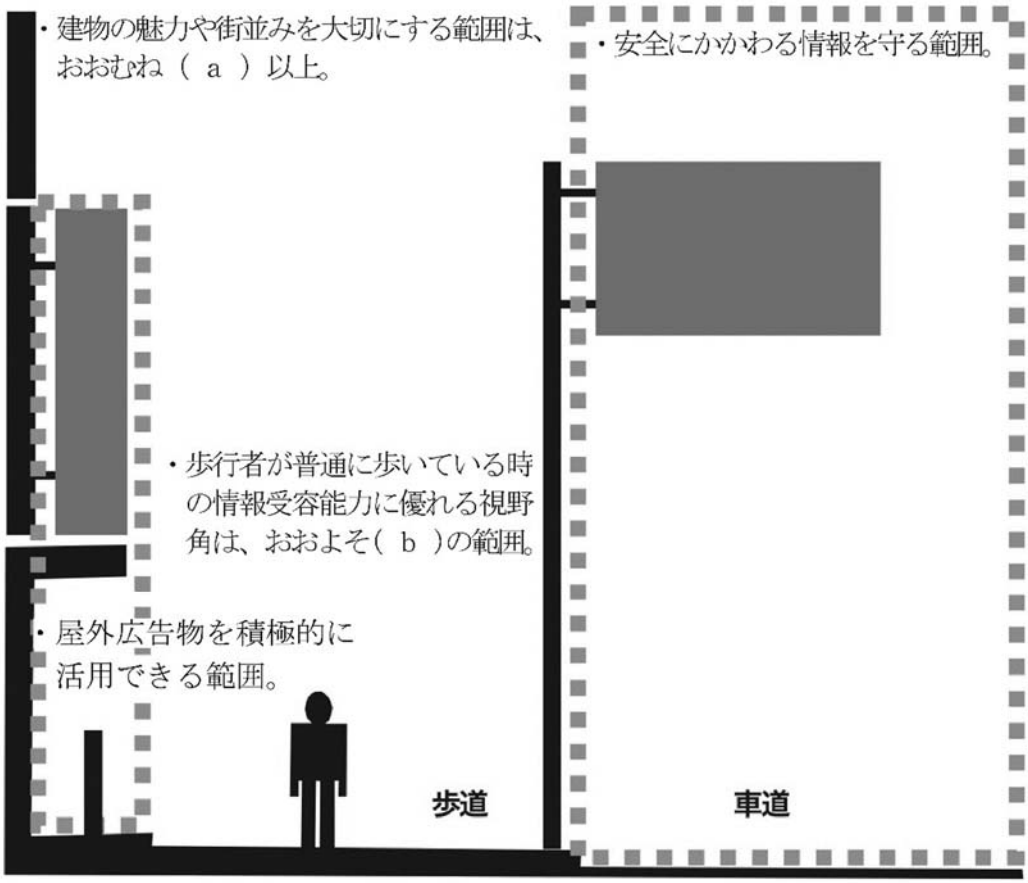
１．光をサインとして用いている身近な例として、交通信号灯、道路情報板、駅構内における電車の発車案内板などが挙げられる。

２．ＬＥＤは、蛍光ランプで用いられているものとは異なる、特殊なガスや水銀を使用することで、長寿命かつクリーンな光源を実現している。

３．道路情報板による情報表示は、多数の色で無制限に情報量を増やすことよりも、ドライバーの誤認を避け、的確に情報を伝えることが重要である。

４．既往の研究によれば、短時間呈示という実験条件下では、人間は微妙な色の違いを区別できず、数種類の基本的な知覚色（カテゴリカルカラー）として認識する。

【問10】街路上の情報の目的に応じた場の序列化を示す図の（ a ）、（ b ）に入る語の組合わせとして、**正しいもの**はどれか。



	（a）	（b）
1.	5階	水平60度
2.	5階	水平20度
3.	3階	水平20度
4.	3階	水平60度

【問11】広告情報の受け手としての高齢者に関する記述の空欄に入る語の組合わせとして、**正しいもの**はどれか。

日本では高齢化が進み、令和６年には総人口に占める65歳以上の高齢者の割合は、世界で最高の（　　a　　）である。高齢者の目の衰えを理解し、広告情報の文字を大きくすること、図と地のコントラストを明瞭にすること、説明表現を（　　b　　）にすること、掲示位置を（　　c　　）して見やすくすることなどの配慮が不可欠である。

	（a）	（b）	（c）
１．	約25％	詳細	低く
２．	約25％	簡潔	高く
３．	約29％	簡潔	低く
４．	約29％	詳細	高く

【問12】屋外広告物で使用する和文書体についての記述として、**適切でないもの**はどれか。

１．屋外広告物の書体の読みやすい太さは文字高の1/10～1/5程度である。

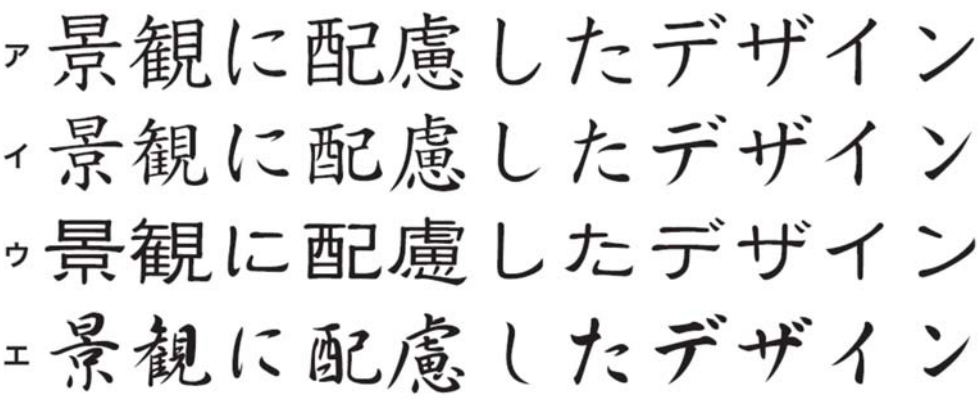
２．屋外広告物では伝達するイメージにふさわしい書体を使用する。

３．屋外広告物の文字は大きく扱うことが多いので、字間のきめ細かな調整が必要である。

４．屋外広告物の１行の文字数は、40字程度までにおさめると読みやすい。

【問13】和文書体に関する記述の空欄に入る語の組合わせとして、**正しいもの**はどれか。

和文で一般的に用いられる書体分類としては、明朝体、ゴシック体、教科書体、楷書体、隷書体、宋朝体、アンチック体などがある。下図の書体見本のうち、教科書体は（　　a　　）、隷書体は（　　b　　）である。アンチック体は辞書の見出しや（　　c　　）などに多く用いられる書体である。



	（a）	（b）	（c）
1．	ア	エ	映画の字幕
2．	ア	ウ	漫画の吹き出し
3．	イ	ウ	映画の字幕
4．	イ	エ	漫画の吹き出し

【問14】コミュニケーションデザインに関わるもののうち、遠隔通信として**適切でないもの**はどれか。

1．サウンドスケープの一つとされる時を告げるお寺の鐘の音。

2．人類の遠い先祖において、家族や同族が一つの火を囲むことによってお互いの連帯感高めるために用いた火の利用。

3．船舶相互間において国際的に取り決めされた旗を用いて行われる旗りゅう信号。

4．コンクラーベにおいて新しいローマ教皇が決定したことを伝える白い色の煙。

【問15】大都市の中心市街地において、建築物の構造や意匠と一体化し調和した屋外広告物を創造することは、良好な都市景観の誘導を進める上で効果的な方策のひとつである。このことを実現する有効な方法として、**適切でないもの**はどれか。

1．建築物の立面に、屋外広告物を掲出した場合に調和するようなファサードデザインをほどこすこと。

2．建築物の外壁に、懸垂幕等の屋外広告物を掲出できるような平滑な面を確保しておくこと。

3．建築物の屋上に、大規模な屋外広告物を設置できるような平坦なスペースを確保すること。

4．建築物の構造に、屋外広告物を一時的に掲出できるような装置をとりつけておくこと。

【問16】次の照明に関する測定値等の値において用いられる記号の尺度と単位、その説明の組合わせとして、**正しいもの**はどれか。

値	尺度と単位(読み方)	説明
１．780 lx	輝度（ルクス）	見るものへ向かって発する光の強さを示す指標で、光の輝きの程度やまぶしさの程度を表す量のこと
２．800 K	光の波長（ケルビン）	人間の目が感じることの出来る光（可視光）の中の波長を表す
３．150 cd/㎡	照度（カンデラ）	光源に照らされた面の明るさを評価する量のこと
４．Ra＝80	平均演色評価数（アールエー）	照明で照らされた際の色の見え方が基準光で照明したときと比べてどの程度再現しているかを示す指標

【問17】屋外広告物の色彩のコントロールに関する記述として、**適切なもの**はどれか。

１．まち並み景観を構成する様々な要素の色彩を、明度と彩度の関係からみると、屋外広告物やサイン・標識の誘目性は、建物の外壁や屋根と同等であることが望ましい。

２．自然環境色の中で安定した樹木の緑は彩度６までであることから、この彩度以下に建物の外壁色を抑えると、樹木の緑が生き生きと感じられるという指摘がある。

３．景観法に基づく景観計画には良好な景観の形成のための行為の制限に関する事項があるが、建築物や屋外広告物の色彩基準が定められることは稀である。

４．屋外広告物の色彩と周辺の景観を調和させるには、周辺景観色との対比を避け、周辺景観色と類似・融和する色彩とすべきである。

【問18】道路を挟み高架鉄道敷と向かい合うように建つ写真の建築物とその上層に掲出される広告物の景観に関する次の記述のうち、**適切でないもの**はどれか。

１．この広告物の場合、建築物の高層化に伴い高架鉄道により遠い位置からの視認性が高まることから、水平的な位置での問題よりも垂直的な位置での景観配慮が重要となる。

２．高架鉄道からの視点で考えると、広告物の規模は大きくなり連続して掲出される傾向にあるが、この広告物の場合、規模を抑えるとともに接道面での掲出に固守せず、妻面での表示を加えるなど変化をつけた工夫により調和性を高めている。

３．この広告物は、掲出位置を建築物の壁面線に合わせるなど、建築物との造形的一体化の効果が見られる広告物である。

４．視線を集めやすい可読対象の文字やマーク等の表示は限定的で、広告景観としての調和性の高い広告物である。

（高架鉄道に並行するまち並み）

（対象の建築物と上層部の広告物）

【問19】屋外広告の様々なメディアに関する記述として、**適切でないもの**はどれか。

1．仮囲いグラフィックスは、工事現場に設置された仮設塀の壁面に施されたグラフィックデザインのことである。

2．タウンジャックとは、電車やバス車内のすべての広告媒体を同一の製品やサービスの広告で統一することである。

3．シェルター広告は、バスや路面電車の停留所に広告物を設置し、その広告料を利用して停留所を維持管理するシステムである。

4．ラウンドイメージとは、複数の広告画像を印刷したロールフィルムをスクロールさせることで注目度を高めるものである。

【問20】屋外広告物の維持管理に関する記述として、**適切でないもの**はどれか。

1．屋外広告物は、一旦設置されると長年使い続けられるものが多く、安全確保や美観保持のための定期的な点検が欠かせない。

2．屋外広告物は、設置の段階で充分な強度計算や耐候措置を行っていても、長年の使用によって老朽化が進み、落下や倒壊などの事故を引き起こすこともある。

3．屋外広告物の安全点検で特に留意すべきは、支柱や接合部の腐食やたわみであるが、金属材料が用いられている場合は、定期的に点検しなくてもよい。

4．屋外広告物を汚れた状態で放置することは、単に景観上見苦しいだけでなく、事業者の信頼を失わせることにつながる。